

道標ない旅269

“269”とは南郷中の全校生徒数です

平成30年6月26日(地域版第5号)

校長 益田 孝彦 875-9494

◆◆ 修学旅行を無事やり遂げることができました。 ◆◆

出発前日に大阪で震度6弱の地震が発生したことで、出発に際して従来にないリスクを背負った修学旅行となってしまいました。直下型の地震だったことで、見学予定地の奈良・京都・広島には被害がほとんど出ていない状況や、新幹線が翌日には通常運行が見込まれていたこと、延期した場合、前日40%当日50%のキャンセル料が発生し、その補償は得られず家庭負担になることから、学校としては実施するという方向で決定しました。19日出発予定の県内7中学校の内、4校が延期、3校が実施と判断が分かれるのも無理なからぬ所だったと思います。

今回は教頭先生に引率をお願いしました。先生方の真摯な検討・配慮の末、様々な安全対策を施し、生徒の十分な理解と協力体制で、この難局をなんとか乗り越え、思い出に残る修学旅行の成果を十分に上げて帰校しました。修学旅行に参加した南郷中学校一行を心からねぎらいたいと思います。

今回、期間中大きな地震は発生しませんでした。本来なら安全を第一に勘案し、延期措置もありました。その原則に則り、参加を取りやめたご家庭もあり、本当に申し訳なく思っております。また参加を決定されたご家庭にも、お子様の旅行中、大きな心労になったかと存じております。大変難しい判断でした。参加されたご家庭も、参加辞退されたご家庭も、どちらも大きな決断が迫られた修学旅行でした。今は、とにかく無事戻ってきてくれたことを喜びたいと思います。

◆◆ 雨の中、FGC体験学習にご協力いただきありがとうございました。 ◆◆

修学旅行2日目の20日(水)は、かねてから2学年で準備してきたFGC体験学習の日でした。今回ご協力いただいた団体は、13団体でした。豪雨に見舞われたため、計画を変更せざるを得ないで、お昼頃終了した団体さんもありましたが、4時、5時頃まで熱心に体験指導してくださった団体もあり、いずれにしても生徒は大変貴重な体験をしたようです。ご協力いただいた団体の皆様、ご準備、ご指導本当にありがとうございました。



◆◆ プールの周りが大変すっきりしました。 ◆◆



19日(火)は、葉山町シルバー人材センターの皆様が来校され、プール周辺の除草作業に尽力くださいました。写真で見ても分かるようにプールの周囲が大変すっきり致しました。上ノ山公園や南郷中学校周辺には

蛇(たまにはマムシを含む)が多く生息しているという話もあり、除草作業によって目視確認が可能になりより安全な環境になりました。朝早くから沢山のシルバー人材センターの方々にご尽力いただきました。改めて感謝申し上げます。

◆◆ 町の緊急調査にて、南郷中学校プール横のブロック塀について報告しました。 ◆◆



大阪で発生した震度6弱の地震で、ブロック塀の倒壊に巻き込まれ小学生が亡くなりました。このことを受け、町にブロック塀の存在の有無を調査・報告しました。以前、本校のプールフェンスが風に破壊されたことがあり、

目隠しのため設置されたのが現在のブロック塀です。いつの頃から、写真のように楽しく、かわいらしい絵が、美術部の生徒さんでしようか施されたようです。この塀に、鉄筋がどのように入っているか、現在町が当時の資料から調査中です。学校としては、取り急ぎ、塀の内側外側とも、立ち入り制限を写真右側のように施しています。学校の最奥部なので、通学等で近づく場所ではありませんが、体育の授業及び、水泳部・バレー部等の活動時は留意が必要です。生徒には十分周知を図り、壁の近くに不用意に立ち入ったり、近づいたりしないよう伝えてあります。町の調査結果によっては、大規模な補修や、取り壊しになることを視野に入れて、せめてこの写真を残してあげたいと考えています。

◆◆ 全校集会で、チョコッとサイエンスショーを交えてお話ししました。 ◆◆



6月の全校集会は、「より良い学校生活」を考えてもらう機会でした。私も10分間ほど校長の話をする事になっていたので、科学現象を紹介しながらお話ししてみました。

今回は、生きていく上でのひと工夫や、留意点に気付いてもらえるといいなと考え、「過冷却水」と「偏光板トンネル：

無敵の壁」の二つを選んでみました。

まずは「過冷却水」。塩と氷でマイナス20度くらいに冷やした容器から、市販のミネラルウォーターを取り出します。本来なら凍っているはずですが、上手に冷やすと凍る機会を失って、マイナス7～8度くらいの水になります。グラスに注いでも水のままですが、かき混ぜるなどの急なショックを与えると本来の水に変わります。「凍りつく」という言葉は、心理的に辛い響きがあって、心を閉ざしたくなるような場面で使われます。グラスの中の水は確かに凍りましたが、液体が固体に変わるとき凝固熱という熱が出るので、できた氷はマイナス0度のグズグズの氷です。だからこそ自分が勇気を出して凍りついた心を温めれば、案外簡単に氷は溶けるものだよ。ぜひ、このことを心が凍りついたような場面で思い出して欲しいと伝えました。

また、偏光板トンネル（無敵の壁）については、「仲良し同士※の右側」その隣に、「仲良し同士の左側」があった時、右と左の境目に写真でも分かると思いますが、壁ができてしまうことがあるねと投げかけました。あまりに自分たちだけを大事に思うと、人間社会でもいつの間にか壁ができてしまうかもしれません。しかし、その様な壁は無いもののできる（存在しない）のだよと話をし、実際に壁など存在しないことを確認してもらいました。心が勝手につくってしまう壁は、なくすることができるはず。あまり自分たちの流儀に固執せず、相手のことを考えてあげる余裕が欲しいねと伝えて、校長の話としました。機会があれば他の科学ネタも披露してみようと思っています。

※偏光板シートは、同じ向きにすると光（偏光）を通すのですが、シートの向きを90度ずらして直交させてしまうと、全く光を通さないシートのことです。「仲良し」とは偏光シートの向きをそろえることを意味していて、右側と左側のシートの向きを90度ずらすと光を通さない壁が出現します。

◆◆ 工事に関する話題を2件お伝えします。 ◆◆

南郷中学校入り口付近のスターボックスの工事は、3ヶ月工事開始がずれ込み工事は8月末開始予定になりそうとの連絡がありました。

また、その先数十mにある逗葉新道にかかる歩道橋が、車両の上部がぶつかる事故が絶えないので、付け替え工事が行われるそうです。夏場の混雑期、昼間時片側通行が3ヶ月続くそうです。人気で混雑している葉山ステーションもあり、普段でも長い渋滞を発生することのある逗葉新道からの道なので、道路状況がどうなるか少し心配しています。